

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 22 年度 枚方市事業仕分け(第 1 会場)
開 催 日 時	平成 22 年 9 月 4 日(土) 9 時 3 0 分から 1 7 時 1 0 分まで
開 催 場 所	第 1 会場(枚方市市民会館 1 階 第 1・第 2 集会室)
出 席 者	コ ー デ ィ ネ ー タ ー : 上久保明治(浜松市行革審事務局) 仕分け人(構想日本) : 内野洋次郎(内閣府行政刷新会議事務局) : 山内康一(衆議院議員) : 吉武智子(山口県宇部市) 仕分け人(枚方市選任) : 奥野 正(枚方市コミュニティ連絡協議会) : 加藤吉和(枚方・交野地区保護士会) : 高橋泰代(大阪国際大学)
欠 席 者	なし
案 件 名	事業番号 1 広報ひらかた発行事業(広報課)..... 6 頁 事業番号 2 平和に関する事業(人権政策室)..... 27 頁 事業番号 3 車両管理事業(総務管理課)..... 41 頁 事業番号 4 追悼式典実施事業(総務管理課)..... 55 頁 事業番号 5 環境ネットワーク会議運営補助事業(環境総務課)... 62 頁 事業番号 6 まち美化啓発事業(まち美化推進課)..... 82 頁 事業番号 7 「地域通貨ひらり」普及促進事業(市民活動課)..... 92 頁 事業番号 8 消防団運営事業(危機管理室).....105 頁 事業番号 9 地域サービス事業(市民課).....121 頁
提出された資料等の 名 称	平成 22 年度 枚方市事業仕分け 資料(第 1 日目)
決 定 事 項	事業番号 1 : 市(要改善) 事業番号 2 : 市(要改善) 事業番号 3 : 市(要改善) 事業番号 4 : 市(要改善) 事業番号 5 : 廃止 事業番号 6 : 市(要改善) 事業番号 7 : 廃止 事業番号 8 : 市(現行通) 事業番号 9 : 市(要改善)
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	370 人(第 1・第 2 会場の合計数)
所 管 部 署 (事 務 局)	企画財政部 都市経営室 行政改革課

審 議 内 容
別添のとおり

(事務局)

皆様、おはようございます。それでは、定刻になりましたので、ただ今から平成 22 年度枚方市事業仕分けを開会いたします。まず初めに、本市市長であります竹内からご挨拶を申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

(市長)

皆さん、おはようございます。枚方市長の竹内脩でございます。本日は残暑大変厳しい中、また早朝よりこのようにたくさんお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、枚方市でございますが、8月1日現在で人口が41万841人、世帯数17万683件を数えます、いわゆるベッドタウンとして発展してきたまちであります。大規模な住宅開発は一定終わっておりますが、充実した医療環境、また、交通の利便性などに多くの市民の方が魅力を感じていただき、各種アンケートの結果でも市民の定住志向の高さが表れております。人口につきましては、大阪府内の多くの自治体が減少に転じている中、枚方市では、わずかではありますが増加の傾向にございます。しかし、世帯数は年に2,000から3,000増加するなど、急激な増加傾向にありまして、このことは、とりもなおさず1家庭当たりの人口が少なくなるということにございまして、少子高齢化の傾向というものが本市におきましても顕著に現れてきております。

こうした社会構造、家庭環境の変化は社会保障費の増大、または市税収入の減少など市政運営においてもさまざまな課題につながっていくものであります。また昭和40年代から50年代、人口の急増期に整備して参りました公共施設の老朽化対応など、今後さらなる財政支出が強くなる、このような課題もございます。こうした課題に対応していくためには、市政の構造改革を今から強力に進め、安定した財政基盤の確立とさまざまな行政ニーズに柔軟に対応できる、効率的で柔軟な行政運営を重視していくことが必要であると考えています。そのためには、本市が進めておりますさまざまな事業につきまして市民の皆さんのニーズを的確に反映し、社会状況の変化に対応したものとすよう、多角的な評価、検証が不可欠であります。

今回の事業仕分けは、こうした評価、検証を行う都市経営サイクルの一環として、試行的に実施するものでありまして、行政内部とは異なる視点から事業の妥当性や有効性等を点検、検証することを目的としています。対象としました36事業につきましては、本市が行う全事務事業1,400あまりの中からさまざまな種類の事業を幅広く選択したものでありまして、仕分けの結果については、本市としての対応案を取りまとめた上で、次年度以降の事業計画、また予算編成に反映していくつもりであります。また、今回対象とならなかった類似事業の評価、検証にも役立てていきたい、このように考えております。

今回の事業仕分けでは、構想日本からコーディネーターを含め仕分け人8人と、本市からお願いをいたしました6人の仕分け人、合計14名の皆様が2班に分かれていただき、今日、明日2日間で行っていただく予定となっております。長時間の仕分け作業となりますが、今回の作業が、実り大きなものとなりますよう、議論のほどよろしくお願いを申し上げたいと思います。また、傍聴にお越しいただきました皆様につきましても、円滑な仕分けが実現できますよう、ご協力のほど、また、当市市政運営に対しまして今後とも暖かい目、また厳しい目をもちまして、お見守りいただきますことを心よりお願い申し上げます、開会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。

今日は、どうぞ皆さん、よろしくお願いをいたします。ありがとうございます。

(事務局)

市長、ありがとうございます。続きまして、本日の事業仕分けにつきまして、構想日本の中村様の方からご説明を申し上げます。

(構想日本)

皆さん、おはようございます。構想日本の中村でございます。事業仕分けの説明と申しますと、ここまで進めていただきました枚方市の行政当局の事務方の皆さんを含めまして、心から敬意を表させていただきます。また、今日大勢の市民の皆さんに傍聴いただきまして、ありがとうございます。

私ども構想日本、こちらの枚方市の事業仕分けに協力させていただきまして、実は、この事業仕分けでございますけれども、2002年から、いろいろ自治体との連携の中で少しずつ進めて参りました、私どもが呼びかけをしながら、特に市町村、あるいは都道府県の行政サービスのあり方はどうあるべきなのか、国・都道府県・市町村の役割分担、そして行政と住民の皆さんとの役割分担とはどうお持ちなのか、そして、それぞれの事業であるということに、いろんな問題点やら無駄はないのかということを一つの事業で検証をしていくか、ということでそういう事業仕分けの方を広く市民の皆さんに公開するということが大変重要ではないかと。抽象的な色んな政策機能がございますけど、やはり最後には、住民の皆さんにとって一番関わりのあるのは事業、あるいはサービスでございますので、その中身を具体的に検証していくということが色んな面での改革につながってくるんだろうという思いから、この事業仕分けを進めさせていただきました。

その結果でございますが、国の方もその主旨を認められて、去年は政府として事業仕分けが行われたわけでございますが、そこで一挙に事業仕分けが有名になったわけでございますけど、同時に私どもは、当初から進めて参った事業仕分けに対する誤解、曲解、あるいは意図的な決め付けのようなこともございます。今日の現場で是非仕分け人さん、そして職員の皆さんとのやり取りを、特に、傍聴者の方、お聞きいただきながら、この事業仕分け、これはあくまでも道具でございますので、事業仕分けそのものもいいとか

悪いとかということではございません。その中で行われる議論、そしてその結論、結果をどのように次の行政に生かしていくか、これは執行部と、それから最終的には議会で決めていただくことですので、そのことも含めましてやり取りをしっかりと仕分け人の皆さんやっていただけたと思いますので、それをしっかりと聞いていただきながら、次の枚方市の改革に有効につながっていく事業仕分け、2日間できればというふうに念じておりますので、どうぞ2日間よろしく願いをいたします。

(事務局)

ありがとうございます。それでは、ただ今から早速事業仕分けの作業を開始させていただきます。皆さん、どうぞよろしく願いいたします。